



山元春拳生誕 150 年記念企画展

# 蘆花浅水荘と 山元春拳画塾



## 大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町 2-2 TEL 077-521-2100  
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

2022.  
 3/12 sat ~ 4/17 sun

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時 (入場は午後 4 時 30 分まで)  
 【休館日】月曜日 (3月21日を除く)、3月22日 (火)

【主催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞

【後援】朝日新聞大津総局・radio・NHK 大津放送局・共同通信社大津支局・KBS 京都・産経新聞社・時事通信社大津支局・(株)ZTV 滋賀放送局・中日新聞社・日本経済新聞社大津支局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局

【観覧料】一般 600 円 (480 円)・高大生 300 円 (240 円)・小中生 200 円 (160 円)

※ ( ) 内は前売、15 名以上の団体、大津市内在住の 65 歳以上の方、大津市内在住の障がい者の方、市内在住の介護保険の要介護者・要支援者の方の割引料金 (証明書等をご提示ください)。  
 ※ 前売り券は、大津市内観光案内所 (大津駅・石山駅・堅田駅前) で 2 月 15 日 (火)～3 月 21 日 (月・祝) まで販売。

上: 林文壺「乱舞」白澤庵蔵 下: 「早苗集会写真真蘆花浅水荘」個人蔵 左右: 庄田鶴友「月四題」京都国立近代美術館蔵

# 山元春拳を訪ねる

春拳ゆかりの施設をご案内します



## 蘆花浅水荘 (記恩寺)

山元春拳の別邸兼画室。春拳の文人趣味がいかに発揮された重要文化財の近代数寄屋建築。アトリエは当時そのままに残されている。

開館時間 10:00～16:00 拝観料 500 円  
 アクセス 京阪電鉄石山坂本線「瓦ヶ浜」駅下車 徒歩 5 分 電話 077-522-2183  
 場所 大津市中庄一丁目 19-23 HP <http://rokasensuiso.rashinban.xyz/>  
 ※3 日前までに要予約



## 膳所焼美術館

膳所焼を復興した岩崎家が収集した、江戸時代以来の古膳所や滋賀の古陶磁を展示した美術館。本展期間中は、復興を支援した山元春拳絵付の作品を一堂に展示。

復興膳所 稲穂絵四方水指 岩崎健三 山元春拳絵付 膳所焼美術館蔵

開館時間 10:00～16:00 入館料 大人 900 円 (呈茶あり) 休館日 月・火曜日 (祝日除く)  
 アクセス 京阪電鉄石山坂本線「瓦ヶ浜」駅下車 徒歩 1 分 電話 077-523-1118  
 場所 大津市中庄一丁目 22 HP <http://zezeyaki.jp/zezemuseum/>

「大石内蔵助」山元春拳 個人蔵

山元春拳生誕 150 年記念企画展

# 蘆花浅水荘と 山元春拳画塾

詳しくは大津市歴史博物館まで

れきはく講座 有料・事前申込が必要

4月9日(土) 14:30～16:00

盆梅展「梅仙窟」にみる膳所の近代

講師: 木津勝 (本館副館長)

4月14日(木) 14:30～16:00

復興膳所 - 古典復興運動のなかで

講師: 鈎真一氏 (滋賀県立陶芸の森陶芸館学芸員)

## 期間中のイベント

現地見学会 有料・事前申込が必要  
 各2時間程度

蘆花浅水荘と膳所焼美術館探訪

3月16日(水) ①10:00～②13:30～  
 3月23日(水) ①10:00～②13:30～  
 4月6日(水) ①10:00～②13:30～

スライドトーク 無料・事前申込が必要  
 講堂での展示解説

蘆花浅水荘と山元春拳画塾

3月26日(土) 16:00～17:00  
 4月2日(土) 16:00～17:00  
 4月13日(水) 14:00～15:00



無料駐車場 (乗用車約 60 台)

京阪電鉄石山坂本線「大津市役所前」駅より徒歩約 5 分  
 JR 湖西線「大津駅」より徒歩約 15 分

## 大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町 2-2  
 TEL 077-521-2100  
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

三井寺 春のライトアップ 2022  
 びわ湖大津 春のライトアップ 桜の琵琶湖疏水  
 3月25日(金)～4月10日(日)【予定】  
 ※詳しくはびわ湖大津観光協会 HP をご覧ください。

滋賀県立美術館企画展  
 生誕 150 年 山元春拳展  
 2022 年 4 月 23 日 (土)～6 月 19 日 (日)  
 ※詳しくは滋賀県立美術館 HP をご覧ください。

山元春拳生誕 150 年記念企画展

# 蘆花浅水荘と山元春拳画塾

膳所中ノ庄村（現：大津市）出身で、近代京都画壇で名声を獲得した山元春拳（1871 - 1933）のもとには、彼を慕って多くの画家志望者が入門しました。そして山元画塾は研究会「早苗会」へと発展。早苗会展を毎年開催し、本格派から実験的前衛派まで多士済々の画家が活動しました。

本展では、従来紹介される機会の少なかった「早苗会」の画家たちの作品を展示するとともに、大正 10 年（1921）に、故郷の膳所に春拳が構えた別邸兼画室の蘆花浅水荘（重要文化財）を中心に春拳が展開した当地の文人・職人たちとの交流も紹介。そこで花開いた、膳所焼の復興に代表される近代膳所の文化的側面にもスポットを当てます。

## 膳所・蘆花浅水荘の文化活動



天台石橋図（部分）  
山元春拳 白澤庵蔵



竹細工邦楽器  
清水風外 記念寺蔵



復興膳所赤染茶碗 比良暮雪  
山元春拳絵付 個人蔵

本展では、春拳の余技と数寄ぶりにも注目。岩崎健三を支援して復興に関わった膳所焼。地元の竹工芸職人・清水風外を起用した蘆花浅水荘竹之間を初めとした竹道楽。痛快な狂歌の数々。地域や弟子を巻き込んだ文人春拳のプロデューサー活動を紹介。



### 林文塘

俵屋宗達の唐獅子を、モダンな日本画へとリメイク！  
◎「乱舞」



### 古谷一晁

精神世界の迷宮さながらの岩窟におわす羅漢の表現に注目！  
⑦「岩窟羅漢図」



⑧「舞踊」

彼の手にかければ、  
女性は幻想的にも抒情的にも  
魅力を放つ絵となる！

### 渡辺幾春

### 廣本進

一に写生、二に写生、三・四も、そして五も写生！  
イチ早く写真を活用した山元画塾。



⑨「七面鳥 雄」（部分）



⑥「夜這い猫」

日本画界において、ゆるカワ造形を開拓した先駆者！

### 柴田晩葉

### 中野草雲

悲哀を、静けさと秋の木立が包み込む。  
春拳門の抒情派。

⑤「三輪」（部分）

### 植中直斎

③「犬娘の正月」



日常生活から古典・仏典の絢爛な世界まで描く  
人物画家の異色作家！

### 山元春汀

④「妙高山」（部分）

叔父の春拳が「剛」の山岳表現なら、  
彼は「柔」の山岳表現！



### 疋田春湖

画塾の部活動、山岳部！（写真は1918年）  
そこには徒弟制の師弟・先輩後輩関係はなく、  
生き生きした塾員画家たちの姿がある。



※上段の左から二人目が山元春拳

### 勝田哲

時には繊細で気品にあふれ、  
時にはモダンで大胆。全方位美人画家！  
②「文の認め」（部分）



# 日本画の坩堝 山元春拳画塾「早苗会」

春拳スタイル継承者から独自路線まで

②③④⑦⑧⑩：白澤庵蔵  
⑤⑨：京都市立芸術大学芸術資料館蔵  
①⑥：個人蔵